



上下水道事務所からのお知らせ



宅地内漏水の確認方法

宅地内（メーターBOXから住宅側）での漏水は気付かぬうちに進行していることがあります。

特に使用頻度の高い器具や老朽化した管は、漏水する可能性が高くなります。

地面や壁面が濡れています、水が噴き出していますなど、目に見える漏水はすぐに確認できますが、地中や壁の中などの見えないところで進行している漏水の確認は、右記の方法で行なうことができます。

宅地内の漏水点検・修理は、守谷市指定の工事事業者に依頼してください。

漏水点検・修理は、住宅の新築や改築時などに給水装置工事を行った守谷市指定の工事事業者（分からぬ場合は、建築業者などにご確認ください。）に依頼してください。

工事事業者がわからない場合は、下記QRコードを読み取るか、守谷市ホームページ内で「指定給水装置工事事業者」と検索して表示される【守谷市指定給水装置工事事業者一覧表】を参考に、守谷市指定の工事事業者に依頼してください。

※宅地内漏水の点検・修理の費用は、お客様の負担となります。依頼する際は必ず費用の確認をお願いします。



- ①蛇口・トイレ・湯沸かし器などのバルブを全て閉める。



- ②メーターBOXのふたを開けてメーターのパイロット（銀色の羽根車）の動きを見る。



- ③蛇口を全て閉めているのにパイロットが回る場合は漏水の可能性があります。
(微量の漏水ではパイロットが1周するのに1~2分程度かかることがあります。)



- ④のメーターの写真で矢印の先にある銀色の羽根車がパイロットです。
メーターの中を水が通るとパイロットが回る（右回り）仕組みになっています。
宅地内の蛇口を全て閉めた状態でパイロットが回る場合は、宅地内のどこかで漏水していると判断できます。
(パイロットの動き方が分かりにくいときは、蛇口を開けた状態で確認してみてください。)

水道の冬支度 防寒対策をして、凍結による水道管などの破損を未然に防ぎましょう。



凍りやすい水道管などとは

- 屋外で、風が直接吹き付ける場所にある水道管・バルブなど
- 北側の日陰にある水道管・バルブなど
- 給湯機器等の屋外設置機器

防寒の方法

- 水道管・バルブなどに保温材を巻きます。
- 身近なものとしては毛布、布などでも代用できます。毛布や布を巻いてひもでしばり、上からビニールなどで包みましょう。
- 蛇口は破裂しやすいので上まで完全に包んでください。



検針にご協力を

上下水道事務所では、2箇月ごとに皆さんのご自宅に訪問し、水道メーターの検針を行っています。円滑な検針作業にご協力ををお願いします。

- メーターBOXの上には物を置かない。
- メーターBOXの中に水や泥が入らないようにする。
- 増改築などで水道メーターが室内や床下になる場合は、検針しやすい場所に移設する。
- 飼い犬は、水道メーターから離れた場所につなぐ。

※メーターBOXからご自宅の蛇口まではお客様の管理となります。定期的な漏水確認とメーターBOX内の清掃をお願いします。



こんなときには連絡を

- 転出、転居するとき
- 家を新築するとき
- 家を取り壊すとき
- 水道を長期間使用しないとき
- 使用者または所有者の名義が変わるととき
- 検針票の送付先などが変わるととき
- 井戸水を使い始めたとき
- 井戸水から水道水に切り替えたとき
- 家族の人数に変更があったとき（井戸水を使用している場合のみ）

※水道の開閉栓の連絡は、使用または中止する3日前（土日、祝日は除く）までにお願いします。

問合先 守谷市上下水道事務所

〒302-0110 守谷市百合ヶ丘二丁目 2734 番地の1
電話 0297-48-1842 FAX 0297-48-6087
ホームページアドレス <https://www.city.moriya.ibaraki.jp/>